



第28回イベント学会研究大会

AI時代に問う 人間の創造性とは何か？



第28回イベント学会研究大会

■テーマ： AI時代に問う 人間の創造性とは何か？

■日程： 2025年11月8日（土）・9日（日）

■会場： 1日目

研究大会：目白大学10号館＋オンライン

交流会：目白大学1号館B1階学食

2日目

エクスカージョン：海の森公園・海の森水上競技場

■実行委員長：岡星竜美（イベント学会理事・東日本地域本部長）

■主催： イベント学会

■共催： 一般社団法人日本イベント産業振興協会、
一般社団法人日本イベント協会、
日本イベント業務管理士協会

■オンライン参加アドレス

第28回イベント学会研究大会_午後の部

時刻: 2025年11月8日 01:00 PM 大阪、札幌、東京

<https://us02web.zoom.us/j/81364046966?pwd=TI09Xzcs12MwyghN2wS8rCl7VQpFW7.1>

ミーティング ID: 813 6404 6966

パスコード: 050006

1 日目 研究大会・交流会

時間	プログラム	会場
9:30-12:00	研究発表（口頭発表） ※詳細別紙	10号館5階 10508
12:00-13:00	～休憩/昼食～	
12:40-	受付開始	
13:00-13:10	オープニング 開会挨拶：中村利雄（イベント学会会長）	10号館9階 大講義室10900
13:10-14:10 (60分)	1限（特別講演）【イベントクリエイティブ学】 「AI時代に問う 人間の創造性とは何か？」 ～手塚マンガAI新作『ブラック・ジャック』プロジェクト の現場から～	同
14:10-14:20	～ブレイク～ ※ステージ転換	
14:20-15:25 (65分)	2限【イベントリスクマネジメント学】 「そのイベント、止められますか？」 ～気候リスクとタイムライン～ ・近年の気象状況について ・事例1：『ベリテンライブ Special』落雷事故（栃木） ・事例2：『足立の花火』開催中止（東京・足立区） ・台風とタイムライン 他 ～ミニブレイク～	同
15:30-16:15 (45分)	3限【イベントサステナビリティ学】 「サステナビリティメソッド・プレゼンテーション」 1) 「イベントにおけるLGBTQ+ハンドブック」 2) 「ユニバーサル対応イベントガイドライン」 3) 「イベントCO2算定」 ～ミニブレイク～	同
16:20-17:05 (45分)	4限【エキスポロジー(万博学)】 「大阪・関西万博『TEAM EXPO 2025 共創チャレンジ』 報告会」 「地球市民」が実現する持続可能な社会の提言 1) 世界自然遺産5地域会議 2) いのちをつなぐ水と流域・地球市民フォーラム 3) 関西・歴史文化首都フォーラム動画発信プロジェクト 4) 全体総括	同
17:05-17:10	クロージング 総評・閉会挨拶～移動	同
17:20-18:30 (70分)	交流会	1号館 B1階学食 ローズウッド・ ラウンジ

研究発表（口頭発表）

9:30-9:40 受付・資料配布・オリエンテーション

9:40-11:50 研究発表（口頭発表）

11:50-12:00 予備

		A室（10号館5階10508）
座長		上代圭子（東京国際大学 人間社会学部 准教授）
9:40-10:00	題目	ステアクライミングチャレンジの志向性に基づくセグメントと参加動機：プッシュ・プル要因に着目して
	発表者	太田明李（中京大学大学院）
	共同発表者	伊藤央二（中京大学）
10:00-10:20	題目	大学教育における「イベントの学び」を支える実務家教員養成の試み—教育力と実務・理論の両立を目指した連携授業の実践—
	発表者	志塚昌紀（東京富士大学経営学部イベントプロデュース学科）
	共同発表者	-
10:20-10:40	題目	サステイナブル・トラベル・KAIDO街道
	発表者	原田伸介（株式会社新東通信）
	共同発表者	エバレットKブラウン（イベント学会）、稲本正（イベント学会）、井上直（Teshigoto Gumi）
		A室（10号館5階10508）
座長		川西太士（株式会社EFK 代表取締役）
10:50-11:10	題目	大阪・関西万博を振り返って
	発表者	宮川洋一（（10月末まで）2025年日本国際博覧会協会）
	共同発表者	-
11:10-11:30	題目	「世界レジャー会議」の歴史・内容と2030年大会招致条件の分析
	発表者	師岡文男（上智大学）
	共同発表者	福井昌平（CI戦略プロデューサー）
11:30-11:50	題目	技能尊重社会の実現に向けたムーブメント促進に関する研究 ～2028年技能五輪国際大会（愛知県開催）を見据えて～
	発表者	古澤礼太（中部大学）
	共同発表者	林秀敏（名古屋市立大学）、原田伸介（株式会社新東通信）

1限 (特別講演) 【イベントクリエイティブ学】

「AI時代に問う 人間の創造性とは何か？」

～手塚マンガAI新作『ブラック・ジャック』プロジェクトの現場から～

“マンガの神様”手塚治虫の代表作『ブラック・ジャック』の新作をAIとヒトのコラボレーションで制作する「TEZUKA2023プロジェクト」では、2023年11月発売の「週刊少年チャンピオン」で特別読み切り『ブラック・ジャック 機械の心臓－Heartbeat Mark II』を発表したのは記憶に新しいところです。総合ディレクターを務められた手塚眞氏に、この画期的プロジェクトから見てきたAIの可能性と未来また課題、人間の創造性について語っていただきます。



手塚 眞氏
ヴィジュアルリスト/映画監督



「週刊少年チャンピオン」
2023年52号(秋田書店)

【プロフィール】

1961年東京生まれ。高校時代から映画制作を始め、数々のコンクールで受賞。以後、映画・テレビ等の監督、イベント演出、本の執筆等、創作活動を全般的に行っている。1985年『星くず兄弟の伝説』で商業映画監督デビュー。1995年富士通のPCソフト『TEO～もうひとつの地球』をプロデュース。19か国で50万本のヒットとなる。1999年『白痴』がヴェネチア国際映画祭で上映されデジタル・アワード受賞。2020年『白痴』公開20周年を記念したデジタルリマスター版と手塚治虫原作の『ばるぼら』が全国公開。テレビアニメ『ブラック・ジャック』では2006年東京アニメアワードのテレビ部門優秀作品賞受賞。AIを使って手塚治虫の漫画を描く「TEZUKA2023」プロジェクトでは総合ディレクターを務める。宝塚市立手塚治虫記念館名誉館長など、手塚治虫遺族としても活動している。著作に『父・手塚治虫の素顔』（新潮社）他。

2限【イベントリスクマネジメント学】

「そのイベント、止められますか？」 ～気候リスクとタイムライン～」

『ベリテンライブ』（栃木県）、『足立の花火』（東京・足立区）の事例を伺い、気候リスク時代のイベントの中止・延期について、イベント気象支援サービスやタイムラインの活用について専門家を交え議論します。

◆内容/登壇者

近年の気象状況について/台風とタイムライン 他

村中 明

特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構（CeMI）理事



事例1：『ベリテンライブ Special』落雷事故（栃木）

松井正

エフエム栃木 取締役東京支社長

大木栄範

エフエム栃木 メディアマーケティング部課長



事例2：『足立の花火』開催中止（東京・足立区）

安田真人

一般財団法人足立区観光交流協会 事務局長



◆進行



岡星 竜美

イベント学会理事、日本リスクマネジメント学会会員

3限【イベントサステナビリティ学】

「サステナビリティメソッド・ プレゼンテーション」

持続可能なイベントメソッドとして、セレスポ「イベントにおけるLGBTQ+ハンドブック」/ティー・ツー・クリエイティブ「ユニバーサル対応イベントガイドライン」/JTBコミュニケーションデザイン「イベントCO2算定」をプレゼンテーションしていただきます。

◆内容/登壇者

1) 「イベントにおけるLGBTQ+ハンドブック」

越川延明

セレスポ執行役員人事総務部長 兼 広報室長、
JACEサステナブル委員会委員長



2) 「ユニバーサル対応イベントガイドライン」

近藤大輔

ティー・ツー・クリエイティブ執行役員



3) 「イベントCO2算定」

石黒陽子

JTBコミュニケーションデザインサステナビリティ推進局



◆進行



岡星竜美

イベント学会理事、日本リスクマネジメント学会会員

4限【エクスポジ（万博学）】

「大阪・関西万博『TEAM EXPO 2025 共創チャレンジ』報告会」

「地球市民」が実現する持続可能な社会の提言

イベント学会が一般財団法人地球産業文化研究所（GISPRI）と協働し、2022～25年の4か年にわたって推進してきた大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025 共創チャレンジ」の成果を振り返るとともに、今後の展望をイベント学会会員と共有します。

◆内容/登壇者

1) 世界自然遺産5地域会議

枝松克巳
公益財団法人屋久島環境文化財団アドバイザー



2) いのちをつなぐ水と流域・地球市民フォーラム

古澤礼太
イベント学会理事、中部大学国際ESD・SDGsセンター長・教授



3) 関西・歴史文化首都フォーラム動画発信プロジェクト

川本勇
テレビプロデューサー、(株)ユーストン・
(株)ユーロック代表取締役、滋賀県立大学客員教授



4) 全体総括

福井昌平
イベント学会副会長、イベント学会 TEAM EXPO 2025 企画委員会委員



◆進行



守屋慎一郎
イベント学会理事・副事務局長
イベント学会 TEAM EXPO 2025 企画委員会事務局

交流会

10号館1階へ。中庭を通り、1号館に入ってすぐ右、B1への階段降りて学食「ローズウッド・ラウンジ」へお越しください。



TOKYO2020 LEGACY

海の森公園・海の森水上競技場 見学会

東京湾臨海部の最先端 海の森をイベントの聖地に！

日時：11月9日（日）10:50～13:20

場所：海の森公園・海の森水上競技場

参加料：無料（現地までの交通費はご負担ください）



1 趣旨と目的

東京湾中央防波堤北側の埋め立て地に1,230万トンのゴミと東京の公園や街路樹の剪定枝からつくった堆肥の上に、延べ23,000人の市民・企業活動として約24万本の植樹による海の森。2020東京オリンピック総合馬術会場を経て2025年春に公園として開園した。東京23区で唯一、音出しを気にせずイベントができる立地環境で、すでに2回のロックフェスが行われ、今後イベント会場としての大きな可能性を秘めている。

隣接する海の森水上競技場は、東京港中央防波堤内側及び外側埋立地間の水路に整備された競技場で、2020東京オリンピック（ボート、カヌースプリント）、2020年東京パラリンピック（ボート、カヌー）の会場を経て、2022年春から一般開業がなされている。オリンピック会場として整備された高規格のインフラストラクチャーを備え、スポーツイベントだけでなく、海の森と一体となった活用が望まれる。

第28回イベント学会研究大会二日目のエクスカーションを通じて、イベント関係者の皆さんで、海の森&水上競技場活用のイメージーションを膨らませてください。

※アクセス方法（バスのルート、時刻表）、集合場所（海の森ビジターセンター）、集合時間（10:50）、全体行程ほか、詳細な情報は別紙チラシをご覧ください。

2. 海の森公園 と 海の森水上競技場

■海の森公園

1973年（昭和48年）から1987年（昭和62年）にかけて埋め立てられた1,230万トンのごみと建設発生土の上に立地し、東京都区部で最も広い公園（陸域約95ha、標高40m）

2020年東京オリンピックで総合馬術会場として使用

2025年3月海の森公園としてオープン

（開園面積）

森づくりエリア約58ha

（主な施設）

- ・海の森ビジターセンター
- ・こども広場/わいわい広場
- ・つどいの草原/ふれあいの林
- ・西の小山
東京タワー、東京スカイツリーなどを一望
- ・東の小山
東京ゲートブリッジの美しい景色
- ・BBQ場
- ・駐車場・駐輪場



海の森ビジターセンター



東の小山から東京ゲートブリッジ



自然体験プログラム

■海の森水上競技場

中央防波堤内側埋立地と中央防波堤外側埋立地の間の水路を利用して建設された全長2,300m（2,000m*8レーン）、幅200メートルの漕艇場

2020年東京オリンピック（ボート、カヌースプリント）、2020年東京パラリンピック（ボート、カヌー）の競技場として使用



夜の東京ゲートブリッジ



艇庫棟 食堂



艇庫棟屋上から東京の眺め



グランドスタンド ラウンジ



グランドスタンド

※宿泊（合宿）施設、厨房施設、トレーニングルーム、会議室など多数の施設の利用が可能
※スポーツイベント、商業系イベントだけでなく、ユニークペニユを随時受け付け



第28回イベント学会研究大会